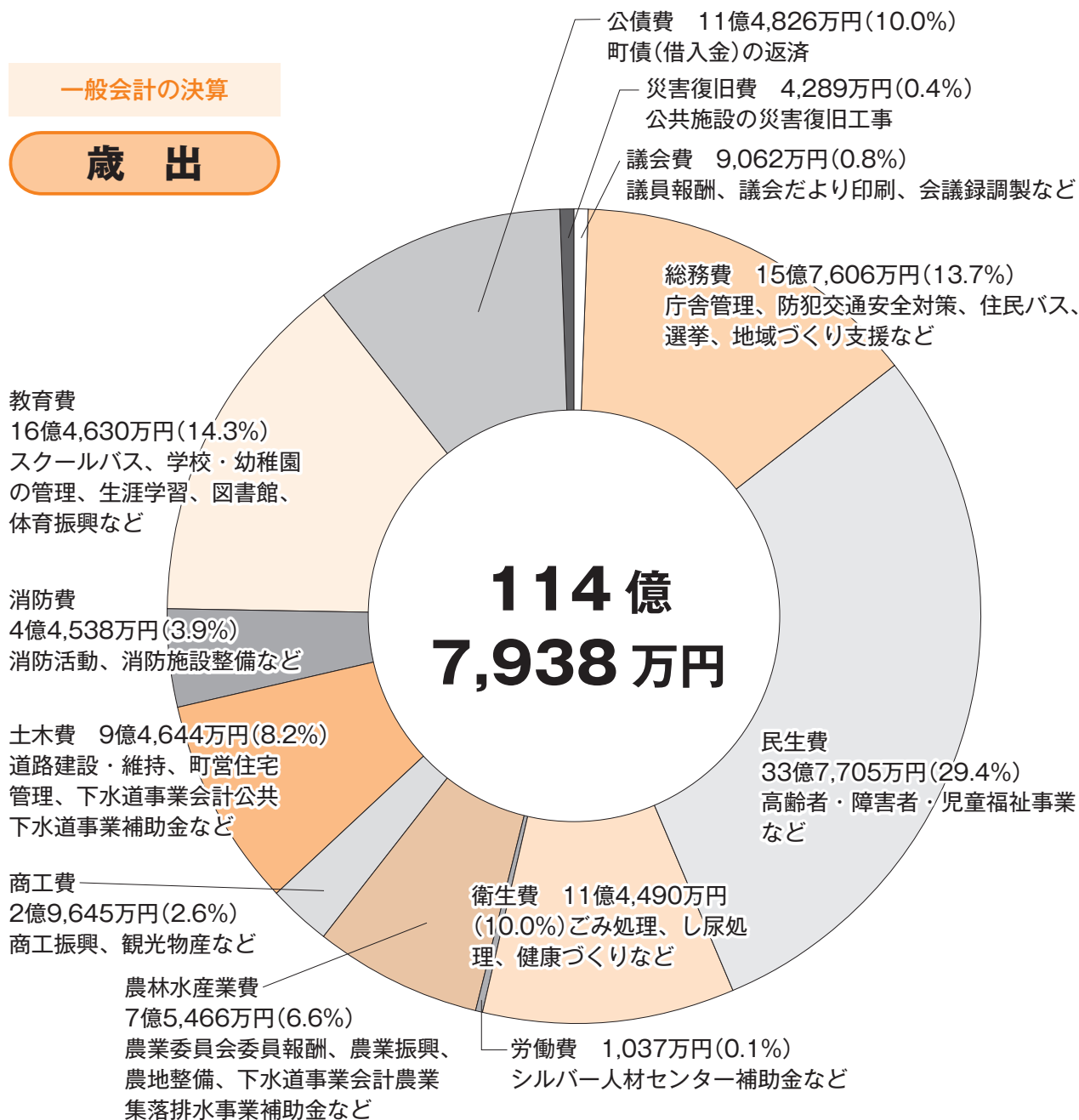


## 令和4年度 決算の概要

令和4年度の一般会計と各種特別会計の決算が、美里町議会9月会議において原案どおり承認されました。令和4年度の決算の概要についてお知らせします。

### 一般会計の決算

### 歳出



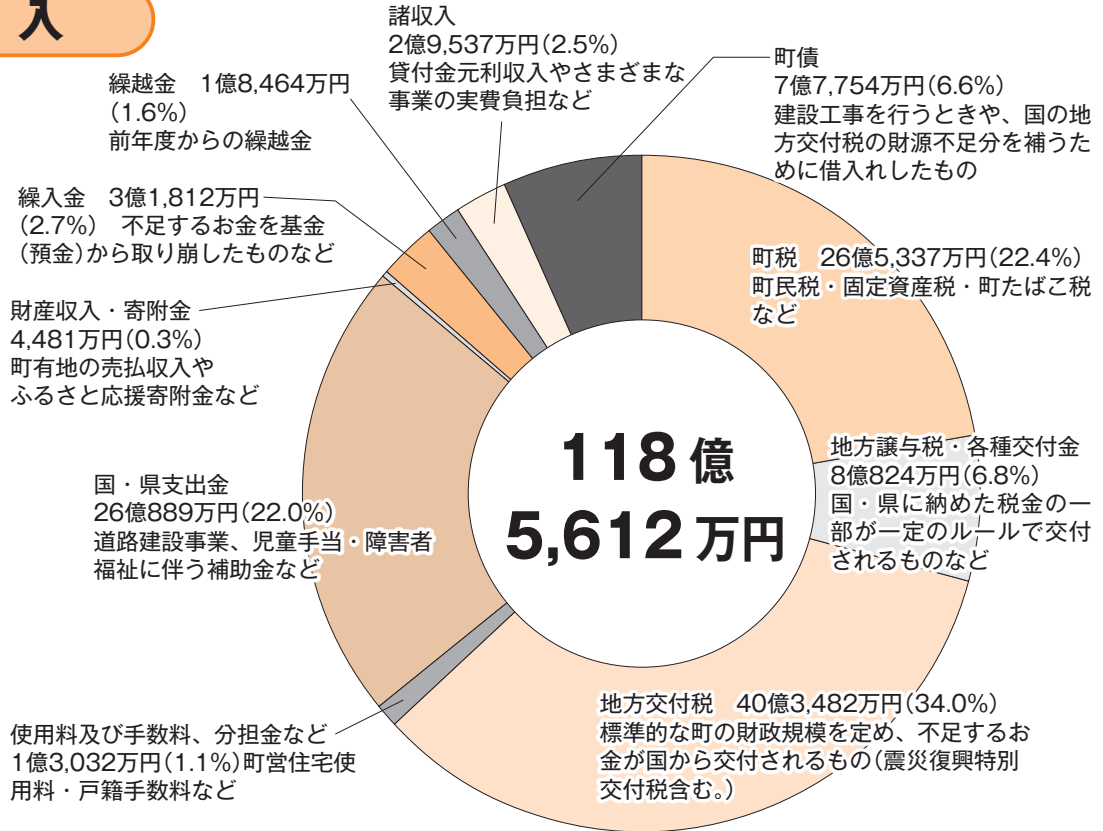
### 歳入歳出とも前年度より減少

令和4年度の一般会計の歳入決算額は118億5,612万円で、歳出決算額は114億7,938万円となりました。子育て世帯への臨時特別給付金事業補助金等の影響により、前年度と比較して歳入では5億3,959万円の減、歳出で5億6,170万円の減となりました。

### 新中学校の整備や子育て支援の推進

令和4年度は、新中学校整備推進事業で新中学校建設用地の造成工事を実施したほか、不動堂放課後児童クラブの建設工事を行いました。また、子ども医療費助成の対象年齢を15歳までから18歳までに拡充したことにより、子どもの医療機会の確保と子育て家庭における経済的負担の軽減を図りました。

# 歳入



歳入のうち町税は26億5,337万円で、前年度と比較して7,755万円の増となりました。地方交付税では、大崎地域広域行政事務組合追加負担金の減額により震災復興特別交付税が減額しました。

## 令和4年度決算の実質収支額

歳入118億5,612万円－歳出114億7,938万円－繰越財源1,985万円＝3億5,689万円

実質収支額3億5,689万円のうち1億7,900万円は、後年度に備えて財政調整基金に積み立てました。

## 特別会計の決算

各特別会計の歳出決算額を前年度と比較すると、国民健康保険特別会計で1.1%の減、後期高齢者医療特別会計で8.0%の増、介護保険特別会計で0.9%の減となりました。

区分	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	26億7,613万円	26億6,577万円	1,036万円
後期高齢者医療特別会計	3億3,012万円	3億2,938万円	74万円
介護保険特別会計	26億2,318万円	25億3,775万円	8,543万円

## 公営企業会計の決算

◇水道事業会計の決算状況

【収益的収支】 収入額 8億2,550万円(消費税等抜き7億5,473万円)  
 支出額 7億8,193万円(消費税等抜き7億2,422万円)  
 差引額 消費税等抜きで3,051万円の黒字

【資本的収支】 収入額 1億5,191万円  
 支出額 4億217万円  
 差引額 2億5,026万円の不足

差引不足額については、過年度分損益勘定留保資金、過年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、減債積立金で補てんしました。

◇病院事業会計の決算状況

【収益的収支】 収入額 7億5,495万円(消費税等抜き7億4,811万円)  
 支出額 7億1,573万円(消費税等抜き7億 934万円)  
 差引額 消費税等抜きで3,877万円の黒字  
 累積欠損金の額は、4億6,781万円となりました。

【資本的収支】 収入額 8,773万円  
 支出額 1億2,846万円  
 差引額 4,073万円の不足  
 差引不足額については、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

◇下水道事業会計の決算状況

【収益的収支】 収入額 10億1,912万円(消費税等抜き9億3,657万円)  
 支出額 9億1,933万円(消費税等抜き9億 119万円)  
 差引額 消費税等抜きで3,538万円の黒字

【資本的収支】 収入額 14億1,989万円  
 支出額 18億7,653万円  
 差引額 4億5,664万円の不足  
 前年度同意済企業債9,390万円および翌年度へ繰り越される繰越工事資金3,700万円を除いた差引不足額5億8,754万円については、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、繰越工事資金、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしましたが、なお不足する額については、令和4年度同意済企業債の未発行分で翌年度に措置します。

町債および企業債の借入額・償還額・年度末残高

区 分	令和3年度末残高	令和4年度借入額	令和4年度元金償還額	令和4年度末残高
一般会計	105億3,052万円	7億7,399万円	11億 983万円	101億9,468万円
水道事業会計	31億1,869万円	1億6,150万円	2億4,590万円	30億3,429万円
病院事業会計	2億4,954万円	1,400万円	9,925万円	1億6,429万円
下水道事業会計	74億5,482万円	8億1,440万円	6億5,569万円	76億1,353万円
合 計	213億5,357万円	17億6,389万円	21億1,067万円	210億 679万円

一般会計の令和4年度末の町債残高は、令和3年度末残高に比べて3億3,584万円の減額となり、101億9,468万円となりました。このうち、地方財源の不足に対応するために従来の交付税に代えて発行される臨時財政対策債の占める割合は42.0%となり、前年度と比べて2.1ポイント減少しています。町全体の町債および企業債残高は、前年度と比べて3億5,723万円の減額となりました。

基金の年度末残高・増減額

区 分	令和3年度末の現在高 (A)	令和4年度末の現在高 (B)	増減額 (B)-(A)
一般会計 財政調整基金	16億6,833万円	16億3,330万円	△3,503万円
一般会計 減債基金	2億3,697万円	2億7,638万円	3,941万円
一般会計 その他の基金	18億1,180万円	18億4,609万円	3,429万円
国民健康保険特別会計 財政調整基金・出産費資金貸付事業基金	7億9,478万円	6億9,157万円	△1億 321万円
介護保険特別会計 介護給付費準備基金	5億1,712万円	5億9,881万円	8,169万円
合 計	50億2,900万円	50億4,615万円	1,715万円

国民健康保険特別会計の基金現在高は減額となりましたが、一般会計と介護保険特別会計の基金現在高は増額となり、基金全体で1,715万円の増額となりました。

## 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率および資金不足比率

この法律は、地方公共団体の財政の健全性を表す4つの比率の公表制度を設けており、この比率が早期健全化基準を超えた場合、町は財政の早期健全化のための計画を定め、さらなる財政の健全化に取り組まなければなりません。

美里町の令和4年度の決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率の算定結果についてお知らせいたします。

### 1 健全化判断比率

区 分	令和3年度	令和4年度	前年度対増減	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	—	14.02%	20.0%
連結実質赤字比率	—	—	—	19.02%	30.0%
実質公債費比率	6.7%	7.1%	0.4	25.0%	35.0%
将来負担比率	14.1%	19.8%	5.7	350.0%	—

#### ◇実質赤字比率

一般会計が赤字か黒字か判断する比率です。赤字のときのみ数値が記載されます。過去のいずれにおいても黒字となり赤字はありません。

#### ◇連結実質赤字比率

公営企業会計を含む全会計の合計が赤字か黒字か判断する比率です。赤字のときのみ数値が記載されます。過去のいずれにおいても黒字となり赤字はありません。

#### ◇実質公債費比率

町がその年度に返済すべき公債費等の金額が、町の標準的な収入金額に対してどのくらいの比率になっているのかを示す数値です。

#### ◇将来負担比率

町が将来にわたって抱える負担すべき金額(町債の借入れやリース契約などで支払いが確定している金額)が、町の標準的な収入金額に対してどのくらいの比率になっているのかを示す数値です。

### 2 資金不足比率

公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する割合です。公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。

本町の水道事業会計、病院事業会計及び下水道事業会計すべてにおいて資金不足額はありません。

## 都市計画税等の使い道 (令和4年度歳入 都市計画税 9,670万円)

町では、公園や街路、下水道など、都市計画事業に使用する目的で都市計画税を徴収しています。令和4年度に納税された9,670万円は、都市計画事業1億412万円の財源の一部として使用しました。不足分は前年度充当できなかった都市計画税と一般財源を充当しています。

都市計画事業	決算額
下水道事業会計への補助金 (これまで整備した公共下水道整備事業に係る企業債償還金)	7,092万円
これまで整備した都市計画事業に係る町債償還金	3,320万円
合 計	1億 412万円